

特105  
978

少年會



始





右を旅の最期に臨むと御す葉は  
 神の義ゆかりに誘はれ、枯葉のうらみ  
 葉のひらひらとゆく風を興へ、のこし 夜を  
 念の下に、秋を向か、秋の西の空に、も  
 互に、時々の境を、をこす、即ち、終り、と、  
 清き聲を、一沈み、然る、方、不語、  
 秋の、高き、空の、風、未だ、向か、  
 向と、向て、望む、空、と、石、顔、と、中、  
 空、は、深、く、

光正  
 15. 4. 19  
 内交



と

雅書堂主人

蘇州の... 蘇州の...

蘇州

... 蘇州の...

蘇州

... 蘇州の...

... 蘇州の...

... 蘇州の...

... 蘇州の...

... 蘇州の...

... 蘇州の...



つらえのたよるをたすかたし  
こ人もあまのちか  
もいしやうにたよる  
結魚のちか  
誇神の孫のちか  
千しゆ  
柳のちか  
書結のちか  
まのちか  
結のちか

捨まの孫のちか  
柳のちか  
まのちか  
柳のちか  
捨まの孫のちか  
柳のちか  
まのちか  
柳のちか  
捨まの孫のちか  
柳のちか  
まのちか  
柳のちか

城を



初雪のち履をぬぎて  
今年一季のこころを  
七転八倒のまゝ  
研ぎし水茶も  
響とたし  
月とちる年  
老くは  
若くは  
若くは  
若くは

白隠法師の信又のすん。海り科  
他くは  
客の馬の  
力の  
おも  
若くは  
若くは  
若くは  
若くは











たぐまにうらなひしうらぬ 空を鑑  
みうさしむせふとさむいう  
この月のうらなひとさむい  
るしうらなひとさむい  
雲のうらなひとさむい  
杏林のうらなひとさむい  
あましうらなひとさむい  
あましうらなひとさむい  
あましうらなひとさむい  
あましうらなひとさむい

あましうらなひとさむい  
あましうらなひとさむい



一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、











294  
583

大正十五年三月十七日印刷(非賣品)  
大正十五年三月二十日發行

發行人 曾根市太郎

印刷所 京都市上京區釜座通御池北入  
下松屋町七百廿一番地

發行所 京都市上京區釜座通御池北入  
下松屋町七百廿一番地  
振替 大阪一四三六五番



終